フォントのトラブル防止について

OS X環境の普及に伴い、DTPのフォント環境もオープンタイプフォントが主流となってきました。利便性が向上し、コストも抑えられましたが、使用にあたっては注意しなければならないことがあります。

■フォントのバージョンとは

フォントもソフトウェアと同様にバージョンアップされています。QuarkやInDesignなどDTPのアプリケーションは、保存時と同じバージョンで開かなければデータ上不具合が発生しますが、フォントに関しても同じ事が言えます。フォントの場合、バージョンが上がるタイミングで字体が変更されることがあります。そのため、制作側と出力側で異なったバージョンのフォントを使用すると、出力結果が変わってしまいます。在版データを使った改版・重版作業も同様ですので注意が必要です。

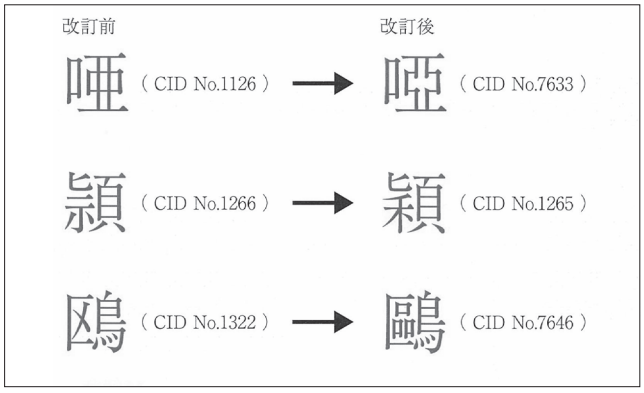
主要フォントの開発、供給を行っている㈱モリサワでは、2007年11月に次のような発表をしています。

> これまでにリリースいたしましたOpenTypeフォントAdobe-Japan1-5（Pr5）仕様、全28フォントにつきまして、以下の改訂を行いました。
> 1. 低解像度プリンタでの文字かすれを改訂
> 2. タテ用ピリオド、カンマの大きさを改訂
> 3. 一部字形の改訂
> 4. 文字置換えテーブル（GSUB）の改訂

これはモリサワのPr5仕様のフォントだけの改訂になります。データ入稿時には、『改訂前』か『改訂後』、どちらのフォントを使用して作成したデータなのかを入稿データ仕様書(※)に明記する必要があります。見分けるためにはフォントファイルの情報を表示させます。改訂前のフォントは作成日が「2005年6月15日または24日」、改訂後のフォントは「2007年10月15日」となっています。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://www.morisawa.co.jp/font/support/after/sup_058.html

字形改訂の一例（A-OTFリュウミンPr5 L-KL）



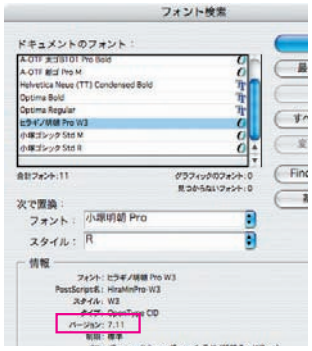
モリサワ「AJ1-5改訂資料」より抜粋

モリサワPr5仕様の確認方法

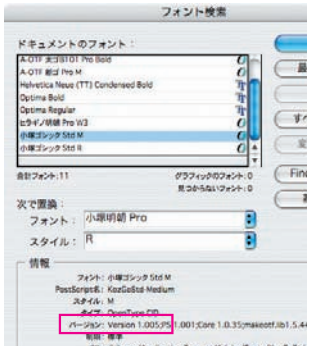
ここの日付を確認する。この場合はPr5改訂前

（※）入稿データ仕様書について
OSの種類、アプリケーションのバージョン、使用フォントなど、次工程に必要な情報を記入していただくフォームです。印刷会社・制作会社でフォーム内容が若干異なりますが、後工程の会社のフォームを使用するのが一般的です。弊社の入稿データ仕様書が必要な場合は、担当営業までお申し付けください。

ヒラギノのバージョン確認方法



小塚のバージョン確認方法



ヒラギノOpenTypeとMac OS Xのバージョン相関表

OS Xのバージョン	ヒラギノOTFのバージョン	
	Pro	Std
10.4	7.11	7.10
10.3		
10.2.3以上		
10.2〜10.2.2	7.10	
10.1.3〜10.1.5	7.02	
10.1〜10.12	7.00	
10.0	6.22	6.21

Adobe の各製品にバンドルされている小塚フォントの一覧

		小塚明朝Pro						小塚明朝Std						小塚ゴシックPro						小塚ゴシックSrd					
		EL	L	R	M	B	H	EL	L	R	M	B	H	EL	L	R	M	B	H	EL	L	R	M	B	H
CS	バージョン	-	1.014	-	1.014	1.014	1.014	1.006	1.006	1.006	1.006	1.006	1.006	-	-	-	1.006	-	1.005	1.005	1.005	1.005	1.005	1.005	1.005
	変更日	-	2003/11/12	-	2003/12/2	2003/11/12	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	-	-	-	2003/12/2	-	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2	2003/12/2
CS以前	バージョン	1.013	1.013	1.013	1.013	1.013	1.013	1.005	1.005	1.005	1.005	1.005	1.005	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004	1.004
	変更日	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14	2001/6/14

また、MacOS Xに付属のヒラギノ書体と、Adobe CSシリーズに付属の小塚書体も、OSやアプリケーションのバージョンアップとともに、バージョンが上がっています。これらもその際に、字形の変更があったり、収録文字が追加されていますので、バージョンの確認が必要となってきます。各フォントのバージョンの確認方法については、上の図を参照してください。

フォントのバージョンなど制作環境を把握し、それを次の工程へ正しく伝達することが、トラブル防止に繋がります。

■その他フォントに関する問題

Mac OS X＋InDesignの制作環境では、フォントの自由度が大幅に向上しました。高価なプリンタフォントがなくても高解像度出力が可能となり、さらにモリサワやフォントワークスの行っている年間契約ですべてのフォントが使用できるという販売スタイルの登場は、デザイナーにとって大きなメリットになりました。

しかし、デザイナーが所有しているフォントがすべて使用できるというわけではありません。そのあとの工程を担う会社がそのフォントを所有していなければいけません。こういった場合は、アウトライン化して再入稿していただくか、他のフォントに代替させていただくことになります。仮りにそのフォントを後工程の業者へ支給したとしても、ライセンス違反となるためパソコンにインストールすることができません。

フォントを選ぶ際にはその後の工程を踏まえ、使用できるフォントを関係者間で摺り合わせておくことが重要です。

また、文字がアウトライン化されたデータについては、修正することが不可能です。この場合修正データを再入稿していただくことになります。

■明昌堂のフォント環境

弊社のOS X環境で使用できる和文書体は以下のようになります。

- **モリサワPASSPORT（2ndアップブレード）**
- **フォントワークスLETS**
- **ダイナフォントOTF100書体**
- **ダイナフォントCID100書体**

モリサワおよびフォントワークの書体については、CID・OTF（オープンタイプフォント）双方とも全書体の使用が可能です。書体見本については、各メーカーのホームページをご参照ください。

・モリサワ
http://www.morisawa.co.jp/font/fontlist/
・フォントワークス
http://www.fontworks.com/lets/font/index.html
・ダイナフォント
http://www.dynacw.co.jp/

なお、MacOS9環境（QX3.3J・4.1Jなど）の場合は弊社の書体見本帳をご覧ください。